

長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン令和8年度以降 変更についていただいた主な意見

◎全体的な評価方法について

- ・全ての施策の達成度を3段階評価で統一するのではなく、施策ごとに適した評価が必要。
- ・5年間同じ評価指標にするのではなく、もう少し短いスパンごとの評価指標設定を行い、大きな目標に対して達成に向かって正しい道順で進んでいるかを適宜確認する方法が望ましい。
- ・協働をすることが目的ではなく、協働をすることでどのようないいことがあるかということを中心に据える。

◎評価者について

推進プランの評価に市民参加型の方法も検討する。

◎目標設定の進行管理について

■審議会等への市民公募委員の参加比率

市民公募になじまない審議会等がどれだけあるのか不明瞭である。

各課は、市民公募になじまないとされている審議会に関して、市民公募委員を登用できるよう運営を見直し。

■自治会加入率

目標を自治会の加入率とするのは時代にそぐわないため、どうするか。

自主防災会、みなし自治会など従来の自治会の設立以外の働きかけに関しても評価する。